

◆ 目的



- ①東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシーを後世に継承
②東京 2020 大会を契機とした地域活性化とスポーツの振興及び観光振興



◆ 実行委員会事業 概要 (総事業費 61,958 千円)

《海外チーム事前キャンプの支援》 55,552 千円

ハンガリー水泳チーム（オリンピック）とオーストリア水泳チーム（パラリンピック）の事前キャンプを支援。

*ハンガリーキャンプ (予定)

〔期 日〕 2020 年 7 月 15 日（水）～22 日（水）8 日間

〔参加者〕 選手・スタッフ 35～40 名



《ウェイトリフティング選手の激励》 700 千円

三宅道場においてトレーニングする、
オリンピック出場選手を激励。

〔内容〕 激励会の開催



《パブリックビューイング（P V）の実施》4,033 千円

市民へ観戦の機会を創出し、ホストタウン国の選手等を応援するため、P Vを実施。

〔会場〕 開成山プール



《記念モニュメントの設置》 200 千円

聖火リレー及び東京 2020 大会の
レガシーとして、記念モニュメント
を設置。

〔設置場所〕 開成山公園自由広場



《その他経費》 1,473 千円

都市裝飾撤去、実行委員会運営
経費等

◆ 市事業 概要 (総事業費 12,882 千円)

《トップアスリート養成教室の実施》2,644千円

市内小・中・高校生を対象に著名な競技者等を講師に、トップアスリート養成教室を実施。



〔種目〕 陸上、柔道、卓球、新体操、バドミントン

《水泳トレーニング機器の整備》2,090 千円

充実した事前キャンプとなるよう、
水泳専用トレーニング機器を整備。

〔機器〕 スイムエルゴメーター 2台



《オリパラ教育の実施》1,360 千円

東京 2020 大会への関心を高め、国際異文化、共生社会等への理解を深めるため、市内小・中学校においてオリパラ教育を実施。



〔予定校〕 中学校1校、小学校16校

《その他経費》 6,788 千円

オリパラ推進アドバイザー謝礼、
旅費等

◆ 事業スケジュール

		2020（令和2年度）											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実行委員会	◆実行委員会 総会 ◆事前キャンプ 受入準備			◆三宅道場 激励会	◆ハンガリー 事前キャンプ	◆オーストリア 事前キャンプ		◆都市装飾撤去	◆モニュメント 設置	◆実行委員会 解散			
						◆パブリック ビューイング							
市	◆スイム機器 の整備	◆オリパラ教育											
													◆トップアスリート養成教室